

第8回オンライン研究会（ろう・難聴教育研究会）

田中美郷氏にきく

我々のクリニックで支援を続けてきた人工内耳装用児の経過

ー トップダウン方式から見た人工内耳との正しいつきあい方ー

開催日：2022年1月29日（土）13:00～15:10（12:50 Zoom 入室）

田中美郷先生は、2021年9月発行の著作「我々のクリニックで支援を続けてきた人工内耳装用児の経過」で、人工内耳装用の20症例の支援経過を考察しています。田中先生のホームトレーニングプログラム（HTP）は、「トップダウン方式」です。これは、発音・聞き取りといった「スピーチ」ではなく、コミュニケーション手段としての「ランゲージ」の獲得・発達をめざすものです。HTPは、かつては、「手話を禁じた伝統的聴覚口話法」で進めた時期もあったが、いまは「聴覚口話に手話や指文字も導入して、視覚を介して内言語の発達を促す」ようになっています。人工内耳装用も、その延長線上にあります。

トップダウン方式によると「親子のコミュニケーションは円滑に運び、情緒も安定して言語獲得・習得が容易になる」と述べています。また、「聴覚口話 vs 手話論争」もトップダウン方式で止揚できたとされます [2020年のAudiology Japan 63]。

医師主導の人工内耳装用の拡大が「暴走」しないために、どうすべきか。人工内耳装用児の経過観察を踏まえた田中美郷先生のお考えを、ろう難聴教育研究会副会長の矢沢国光が対談の形で聞きし、理解を深めていきます。

講師紹介： 田中 美郷 氏（田中美郷教育研究所 所長、神尾記念病院 顧問）

帝京大学附属病院勤務時代から独自のホームトレーニングプログラムによる母子支援を行い、退任後も田中美郷教育研究所を立ち上げ、聴覚障害児の医療と教育一筋に母子支援や研究を日々継続しておられる。

対談者紹介： 矢沢国光 氏（元都立足立ろう学校教員、ろう難聴教育研究会副会長）

ろう教育に約50年、手話の導入に心血を注ぎ、ろう・難聴児の言語獲得の課題に正面から取り組んだ。集大成として「ことばはコミュニケーションの中で生まれ育つーろう・難聴児教育のための言語学入門ー」を当会から出版。当研究会発足当時の役員。

プログラム（手話通訳・文字通訳が付きます）

| | |
|---------------------------|----------------------|
| 12:50 Zoom入室（時間厳守をお願いします） | 14:10 対談継続 |
| 13:00 開会挨拶（会長・長谷川洋）、 | 14:40 質疑応答 |
| 13:10 対談：田中美郷氏、矢沢国光氏 | 15:00 閉会挨拶（副会長・南村洋子） |
| 14:00 休憩 [10分]（Q&Aで質問受付） | 15:10 終了 |



1. 申し込み方法 締切日：2022年1月26日（水）・・・以後は受け付けません。

①2021年度年会費を納入したろう・難聴教育研究会会員は参加費無料です。

「申込QRコード」または「ろう難研HP」（<https://rounan-ed.com>）からお申込みください。

②非会員、年会費未納の会員は、締切日までに参加費1000円を下記からお振込ください。

振込後「申込QRコード」または「ろう難研HP」（<https://rounan-ed.com>）からお申込みください。

・郵便局での振替 → 口座番号 00110-2-314972 加入者：ろう・難聴教育研究会

・銀行のATM → ゆうちょ銀行（99000）店名：019（ゼロイチキョウ）

口座番号：当座 0314972 加入者：ろう・難聴教育研究会

③お申し込み後すぐに参加登録に必要なウェビナーメールをお届けします。

締切日までに参加費の振込が確認できなかった場合、参加登録をキャンセルさせていただきます。

2. キャンセルについて

ウェビナーメールに「登録はいつでもキャンセルできます。」とあります。申込締切日までのキャンセルが有効で、必ず下記事務局宛にもメールでご連絡ください。

3. ご都合で当日参加できなくても動画視聴ができます。ご希望の方は下記宛ご連絡ください。

【連絡・問い合わせ先】：事務局 info@edh.main.jp